

Cisco Unified Call Studio、Universal Edition の、設定可能な新しい [Language] および [Encoding] ドロップダウン リスト

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[背景説明](#)

[関連情報](#)

概要

Cisco Unified Call Studio, Universal Edition を使用すると、言語およびエンコーディングのデフォルト リストが使用できるようになり、このリストをプロジェクト プリファレンスを使用して設定できます。このドキュメントでは、その手順について説明します。

前提条件

[使用するコンポーネント](#)

この文書に記載されている情報は基づいた on Cisco Unified Call Studio、ユニバーサル版です。

[表記法](#)

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

背景説明

症状： N/A

解決策： Cisco Unified Call Studio では、ユニバーサル版はメニューから、> **ユーザー設定** 『Window』を選択します。ユーザー設定ダイアログで、**Audium > プロジェクト**を選択して下さい。これはデフォルトの言語およびエンコード リストを表示する。

言語リストは各音声 アプリケーションの全般設定の言語ドロップダウン リストを読み込むのに使用する言語のデフォルト リストが含まれています。全般設定で規定される言語は XML で使用されます: 各 VoiceXML 資料の lang アトリビュート。言語を、たとえば規定するために、XML で必要な形式にこの値が EN 米国合致する必要があります。

エンコード リストは全般設定のエンコード ドロップダウン リストを読み込むのに使用するエンコードのデフォルト リストが含まれています。全般設定で規定 されるエンコードは VoiceXML 文書を作成するとき使用されます。

注: この値は *UTF-8* 有効な Sun Java 1.4.2 符号化フォーマット、たとえばである、必要がありません; 詳細については Sun Java ドキュメントを参照して下さい。

関連情報

- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)